

- ICECAPについてはtariff作成に向け、アンケート調査を実施しているところ。

作成の背景

- ・ 日本語版の質問票は一橋大学小林先生等によりすでに作成されており、日本語版tariff¹の作成によって日本での利用を可能にすることを目的とした。
- ・ 日本語版tariffの作成は事務局から慶応義塾大学が受託することにより実施。ICECAPのtariffは①成人向け（高齢者含む）、②高齢者向けの2種類が存在するが、今回は対象範囲の広い①成人向け（高齢者含む）を作成することとした。
- ・ アンケート調査では、統計学的な見地から大規模なサンプル数が必要となり、また専門的なインタビューが求められるため、当該分野に豊富な経験と知見を有するシミックヘルスケア・インスティテュート株式会社の協力のもと実施。

進捗状況

- ・ R4年5月 : 日本語版tariffの作成登録についてバーミンガム大学²の承認
- ・ R4年12月 : 倫理委員会にて研究計画の承認
- ・ R5年1～2月 : 400名～500名を対象とした大規模アンケートの実施
- ・ R5年2月（予定） : 必要なデータ収集の完了

今後の対応

- ・ データ収集後は、データの解析を経てタリフが完成。その後論文化のタイミングでバーミンガム大学に登録され、タリフが使用可能となる見込み。今後はこうした対応を進めていく。

注1 : 著作権保有主体が定める方法により各国で設定される、効用値の換算表。質問票への回答結果をtariffによって換算し、効用値を数値化する。

注2 : ICECAPの著作権元。